

「僕らの七日間戦争」の面白さは、自分と比較できる登場人物設定と予想外な行動である。

主人公とその仲間が中学1年で自分たちと同じであるというところだ。自分と本のキャラとを比べてみるとまったく違うだが、この本を読んでみればいいなぜならこの本は、社会の厳しさを自分でどう乗り越えられるのかが分かるのだ。それは、この本の主人公達が、理不尽な事に対して対抗し自分たちでどうにかしようとするのだ。例えば校長先生や教頭先生にトマトをぶつけるなどのやり方でも必ず作戦を実行し、理不尽な事を跳ね返すのだ。大人たちに強制をされようとしてもそれにはむかい自分たちの気持ちを前に出しているのだ。これは、現実では、難しいが本に書いてくれることによってより現実味が増すのだ。

この本は予想外で面白いが心の勉強になるのだ。ですが、このタイトルの七日間戦争とはどうゆう意味でつけられたのか、是非、一度この本を取って読んでみてください。